

取組状況・成果

【図書館サービスの充実】

- ・区民の生活の中で生まれる様々な課題の解決支援のため、ビジネス情報支援相談会の開催や、レファレンス等の情報サービスを提供しています。
- ・新しい時代に向けた図書館サービスとして、全図書館にWi-Fi環境を導入、商用データベースの導入、国立国会図書館デジタル化資料送信サービスを開始するなど、図書館のIT化を促進しました。
- ・図書館運営協議会で「これからの図書館サービスのあり方」について検討を行うとともに、平成28年3月に新宿区立図書館基本方針の改定を行いました。
- ・平成22年11月に策定した「新中央図書館等基本計画」等を踏まえ、新宿の知の拠点にふさわしい新中央図書館等の建設を目指しています。なお、新宿区緊急震災対策により新中央図書館の建設スケジュールは改めて判断されることになりましたが、新中央図書館等基本計画を踏まえた具体的な図書館サービスのあり方等についての検討結果を、平成28年3月に改定した新宿区立図書館基本方針に示し、新中央図書館の建設が可能となる時期に備えています。
- ・新宿区緊急震災対策により移転した中央図書館跡地に、平成29年3月開設予定の下落合図書館を整備しています。整備に当たっては、地域懇談会や図書館運営協議会を開催し、区民の意見を反映した基本設計・実施設計を行うとともに、地域の特性をいかした図書館サービスについて検討した結果を運営に反映させていきます。

【子ども読書活動の推進】

- ・新宿区子ども読書活動推進計画を策定し、家庭・地域、図書館、学校、子育て支援施設等の連携により子どもの読書環境の整備を進めています。家庭・地域では、「子ども読書の日」等の普及活動、絵本リストの配付やボランティア等による読み聞かせ等、読書活動の支援事業を行っています。
- ・図書館では、読書塾（平成28年度より「子ども読書リーダー講座」に改称）や作家講演会の開催、団体貸出などによる読書活動の支援事業等を行っています。また、区立学校では学校図書館への司書等の配置や朝読書の推進事業等を、幼稚園・保育園・子ども園では絵本コーナーの充実等を行っています。

【スポーツ環境の整備】

- ・平成25年2月に「スポーツ環境整備方針」を策定しました。その後、区内関係団体代表者及び庁内関係部署で構成した「スポーツ環境会議」を年2回開催し、スポーツについての情報交換を定期的に行う環境を構築しました。また、高齢者や障害者の計画にスポーツに関する項目を具体的に掲載する等、関係部課間での連携を強化しました。
- ・協働事業提案制度により、子どもがスポーツを楽しめる場や機会を提供する「新宿スポーツ環境推進プロジェクト」を開始しました。
- ・東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の気運醸成を図るため、パラリンピック競技の「ボッチャ」の体験イベントと指導員養成講座を開催しました。
- ・東京都が国からの用地取得を契約したことから、平成28年2月に、「戸山公園箱根山地区多目的運動広場活用検討委員会」を庁内で立上げ、「総合運動場の整備検討」について具体的な取組を開始しました。

現状・課題

【図書館サービスの充実】

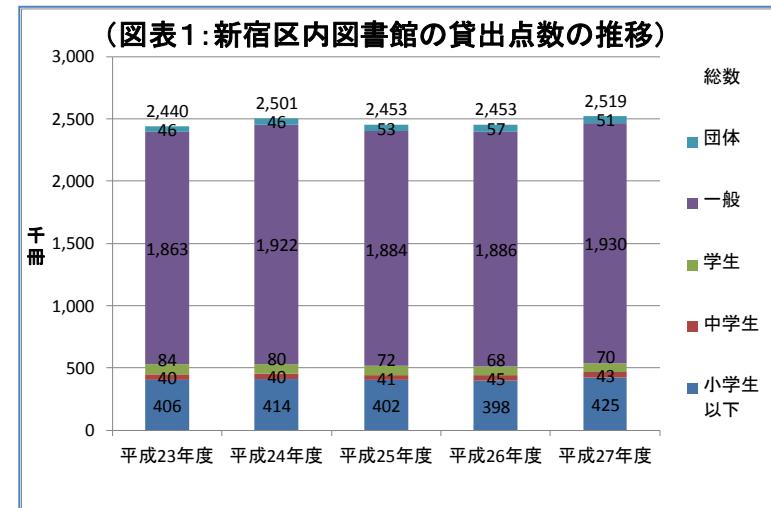
- ・図書館は地域の知識基盤として、電子書籍等を含めたデジタルコンテンツへの対応、知的交流や知識創造に向けた取組み、他の機関との連携やNPO、ボランティアとの協働等一層の対応が求められています。
- ・新中央図書館等の建設については、新宿区緊急震災対策を受けてスケジュールを改めて判断することとしています。

【子ども読書活動の推進】

- ・図書館を利用した読書機会だけでなく、すべての子どもが、あらゆる機会とあらゆる場所において、自主的に読書活動を行えるような環境整備が必要です。

【スポーツ環境の整備】

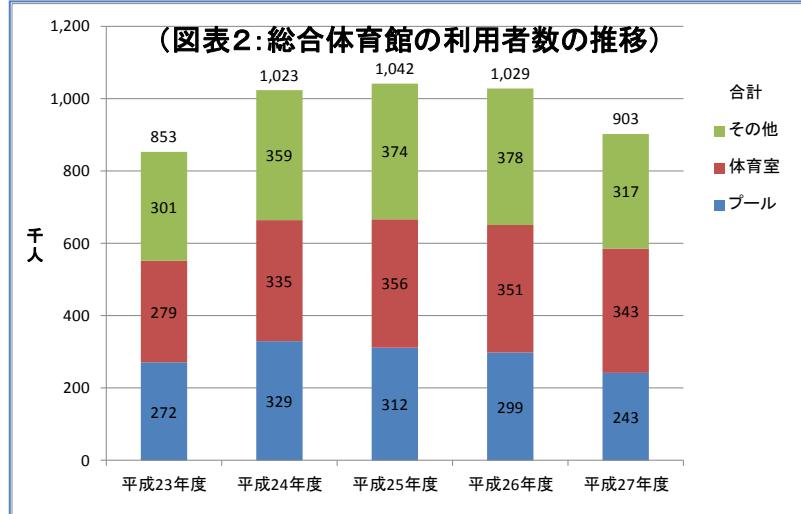
- ・「スポーツ環境整備方針」に基づく、区民のスポーツ人口の増加への取組が必要です。
- ・東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、大会を身近なものと感じられるよう気運醸成を図っていくことが求められています。
- ・健康寿命延伸に向けて、体を動かすことの大切さやスポーツ関係事業について、庁内連携の更なる強化が必要です。
- ・区民の利用しやすい運動場として整備するように、都への積極的な働きかけを行うことが必要です。



新宿区内図書館の貸出点数は年間約250万冊で、横ばいの傾向を示しています。

総合体育館の利用状況について、年間利用者数は平成23年度に東日本大震災の被災者避難所としたこと等により、利用者数が少ない結果となっていますが、その後は、のべ100万人程度で横ばいとなっています。

※新宿スポーツセンターは、平成27年11月1日から平成28年3月31日まで特定天井等改修工事のため休館しました。



目指すまちの姿・状態

すべての人々にやさしい知の拠点としての図書館の活用を通じて、教育と文化の発展に寄与するとともに、区民が様々な課題について自ら考え、他者と協働して解決することができるまちをめざします。

区民一人ひとりが気軽にスポーツや学習を楽しみ、子どもから高齢者それぞれが、ライフステージ等に応じて、いきいきとした健康な生活を送ることで、健康寿命の延伸を図り、いつまでも生涯学習スポーツに取り組めるまちを目指します。

施策の方向性

【図書館サービスの充実】

・区民の主体的な学習を支援するとともに、デジタルコンテンツへの対応など幅広い利用者ニーズにこたえられるよう、図書館サービスの充実を図ります。

【子ども読書活動の推進】

・家庭、地域ぐるみの読書環境の支援・啓発をしていくとともに、学校や幼稚園・保育園・児童館等の子育て関連施設との連携を更に強化し、サービスの充実等を図っていきます。

【スポーツ環境の整備】

・ライフステージ等に応じた場や機会を提供し、誰もが気軽にスポーツや学習に取り組み、楽しめる環境づくりを進めていきます。

・東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会気運醸成として、区民にスポーツを楽しむ場や機会を提供するとともに、大会の開催後も気軽にスポーツができる環境整備を図ります。

・健康寿命延伸のために体を動かすことの大切さや、スポーツ関係事業について、広く周知していく等、地域をつなぐスポーツコミュニティの推進を図ります。

・今日的なニーズを踏まえ、戸山公園での総合運動場の施設整備の早期実現に向け、より一層、都との連携を強化し、協議を進めていきます。

【ボッチャとは?】

ジャックボール(目標球)と呼ばれる白いボールに、赤・青のそれぞれ6球ずつのカラーボールを投げたり、転がしたり、他のボールに当てたりして、いかに近づけるかを競います。障害によりボールを投げるができなくても、勾配具(ランプ)を使い、自分の意思を介助者に伝えることができれば参加できるヨーロッパで生まれた重度脳性麻痺者もしくは同程度の四肢重度機能障害者のために考案されたスポーツで、パラリンピックの正式種目です。



新宿コズミックスポーツセンター



新宿スポーツセンター



下落合図書館完成予定図



児童書架イメージ

